

文大生の 故郷と都留 8

都留市 について気づいたこと

都留文科大学
国文学科
2年
工藤真奈美

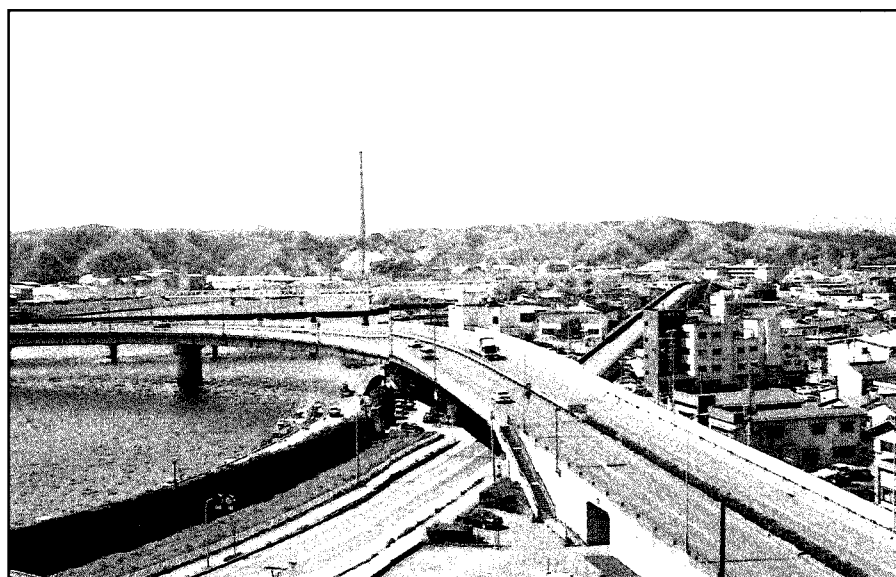


私は東北にある岩手県の宮古市という所から、昨年度都留へとやって来ました。

宮古市は、三陸海岸のほぼ中央、本州の最東端に位置しており、市の東側にはリアス式海岸、西側には北上山系という自然豊かな人口約五万七千ほどの市です。

ですから初めて都留市を訪れた時も、すぐに親近感を覚えました。人口的にも、自然が豊かだということも、観光地がそばにあるのも一緒だったからです。それともう一つ、冬の気候がそっくりです。

よく東北というところ「雪」というイメージがあると思いますが、それは場所によります。宮古市は太平洋側に位置しているため、夏は「やませ」という海風で涼しくなったり（属に冷害ともいう）、冬は一回の積雪量が五センチから十センチほどで、三十センチも降れば大雪というぐらい東北にしては暖かい所だと思えます。なので歩道の雪がとけるといったようなシステムはついていません。だから全部人の手加わりです。車道は雪が十



岩手県の宮古市

センチ以上積もった時点で市役所が建設業者に除雪を要請するようになっていきますし、通学路は町の人と一緒に雪かきをします。今年の都留は何年ぶりかの大雪だったそうで、私も南の方に来てこんな降るのかとびっくりしました。雪かきの道具なんて持っていないので、学校に行く道とかどうなるのだろうと心配したのですが、地域の皆さんが歩道を歩きやすくしてくださっていたので、

本当にありがたかったです。けれども、車道はアイスバーンと化していて、渡るのも、側を歩くのもはつきり言って恐かったです。

都留文生にとって一番有用な交通手段である自転車も、全く使えませんでした。

この車道の除雪についてはもう少し改善の余地があると思います。

バスの本数も少なく、ある程度の近場には自転車か徒歩で行くしかないのですが、本当にこれはお願いしたいです。

それ以外は別に私は都留が不便だとは思わないし、こういう土地柄独特の人の暖かさがあって素敵だと思います。

道を尋ねると親切に教えてくださる方や、朝あいさつをしてくださる方、人と人とのつながりがしつかりある所だと思います。

この間もちょっと足を痛めて病院に行った時、初めて知るシステムの所（カルテの移動をいろいろする所）だったので、ちょっとまごついていたら、外の通院されている方々が親切に初診の人は先にどこに行けばいいのかということや、カルテをどこに持っているのかなど、教えてくださり、無事に診察を終えることができました。

大学生活を送るこの都留市が、私の第二の故郷となるはずなので、この先十年後などに来ても、人の暖かさは変わらない、ふれあいのある都留市であってほしいと思います。